

## 1 プロジェクト内容

(1) プロジェクト名	居場所づくりにつながる多文化交流プロジェクト
(2) プロジェクトの成果 (※そのような成果が得られたかについて具体的に記載)	
<p>団地における日本人と外国人の居住問題の歴史は長い。しかし、どのようにコミュニケーションをとればいいのか分らず平行線が続いている。プロジェクトの独自性は、意外にも進展していない外国人とのコミュニケーションを日頃から積極的に図ることで災害時にも生かせる共助関係を構築していこうとするところにあるが、今年度のイベントは、そこまで至らなかった。</p> <p>夏まつりでは、商店街の露店にいたブラジル国籍の大人たちが一番盛り上がりってくれた。参加者は思ったより集まらなかったが、こうした地道な努力と、困った時には何かをしてあげたいと思う日本人の気持ちは外国をルーツとする人々に受け入れられ、きっかけとなりいずれ実ると考える。</p> <p>それを象徴しているのが、言語教室であり、ダンスサークルにおいて、国籍を超えた交流をしている人々であることがわかった。商店街の中でも活動趣旨に対して理解を示してくれた方々や、日頃から外国にルーツのある子ども達に教育支援をされている先生達は非常に協力的であった。イベントの告知から参加に結びついたのは、自分達が関わりを持てた人達や準備から交流を深めた人達がほとんどだった。昨年よりひしのミナクルでのイベント参加者が増えた。日常的に遊び感覚で集まれるような居場所づくりの重要性が示されたが、居場所とする前に必要なことは、日常から地道に交流を深めることが何よりも大切である。</p>	
(3) プロジェクト実施内容 (※事業の実施方法、時期、場所、回数、市民への周知方法、参加人員等を含め、その内容を具体的に記載)	
<p>■ 「ひしのミナクル de つながる七夕茶会」 7月1日土曜日 場所：菱野団地ひしのミナクル      参加者：25人 ブラジル人、ペルー人、ベトナム人、日本人が参加      市民への周知方法：公民館、集会所掲示板チラシ掲示、チラシ配布      七夕茶会ワークショップとして、グループ分けし、七夕飾り制作、抹茶体験、短冊に願いを書き飾った (添付の写真資料参照)</p> <p>■ 「サンバカーニバル」 2023年8月26日土曜日 未来の菱野団地をみんなで作る会みんなの会主催      わいわい夏祭りにおいて、菱野団地中央広場～商店街 練り歩き 参加者：20人      サンバを盛り上げるため、夕飾りで制作したフラワーペーパーを再利用して飾りを作り、身に付けて踊った。市民への周知方法：公民館、集会所掲示板チラシ掲示、チラシ配布      サランラップの芯にビニールテープを巻き、日本とブラジルの文化融合の象徴であり、場を盛り上げるマツケンサンバの振り付けに使用するサンバ棒を製作し、踊りに使った。      ひしのミナクル及び中央広場を日頃から遊び場にしている子ども達が喜んで参加してくれた。</p>	
(4) プロジェクトの今後の課題と展望	

外国にルーツのある子ども達に日常的に接している言語教室であったり、ダンス教室で日本人と交流しているメンバー、ひしのミナクルに遊びに来ている子どもたちが主な参加者だった。一方、イベントに興味をもった住民の参加もあったことから、住民同士が根気強く交流し続ける必要性が示された。

(注) プロジェクトに関する参考資料がある場合は、A4サイズで添付してください。